

つぎの 文しょうを 読んで、もんだいに 答えましょう。

わたしたちは、きせつによって、きるふくをかえています。夏にはうすいふくを、冬にはあついふくをきます。どうしてでしょうか。

夏は、とてもあついきせつです。うすくて、風がよく通るふくをきると、体のあつさが外へにげていきます。また、白や水色など、明るい色のふくは、日の光をはねかえすので、あつくならないのです。

冬は、さむいきせつです。あつくて、あたたかいふくをきると、体のあたかさがにげにくくなります。セーターの上にコートをかさねてきるのも、ふくとふくの間に、あたたかい空気をためるためです。

ぼうしや手ぶくろも、きせつに合わせてえらびます。夏のぼうしは、日の光から頭をまもります。冬の手ぶくろは、つめたい風から手をまもります。ふくは、きせつに合わせて、わたしたちの体をまもってくれているのです。

(このもんだいのための書きおろし)

(一) 夏には、どんなふくをきるとよいと書いてありますか。文しょうから十五字までで書きぬきましょう。

う
す
く
て
、
風
が
よ
く
通
る
ふ
く

(二) 明るい色のふくが、あつくならないくいのはなぜですか。ア～ウから一つえらびましょう。

ア 風をためるから。

イ 体をあたためるから。

ウ 日の光をはねかえすから。

ウ

(三) セーターの上にコートをかさねてきるのは、何のためですか。「ため」につくように、文しょうから二十字までで書きぬきましょう。

気
ふ
を
く
と
ふ
め
く
の
間
に
、
あ
た
た
か
い
空

(四) 夏のぼうしと冬の手ぶくろは、それぞれ何から、どこをまもりますか。三十文字までで書きましょう。

ま
の
夏
も
手
の
る
ぶ
ば
。
く
う
ろ
し
は
は
つ
日
め
の
た
光
い
か
風
ら
か
頭
ら
を
手
、
を
冬

【小2】国語 文章問題 説明文 5 答えと解説

問一（二十五点） 答え：うすくて、風がよく通るふく

解説：二つ目のまとまりの二つ目の文から。

問二（二十五点） 答え：ウ

解説：二つ目のまとまりの最後の文から。

問三（二十五点） 答え：ふくとふくの間、あたたかい空気をためる

解説：三つ目のまとまりの最後の文から。

問四（二十五点） 答えの例：夏のぼうしは日の光から頭を、冬の手ぶくろはつめたい風から手をまもる。

解説：四つ目のまとまりから。二つとも書けていれば正かい。一つなら半分。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①夏のぼうしは、日の光から頭をまもる

②冬の手ぶくろは、つめたい風から手をまもる